令和6年 12月 宇美町議会定例会会議録 (第1日)
令和6年12月9日宇美町議会定例会を宇美町議会議場に招集した

提出された案件は次のとおり

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 諸般の報告
 (1) 議長事務報告
 (2) 町長行政報告及び提案総括説明
 (3) 教育委員会行政報告
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 諸般の報告
 (1) 議長事務報告
 (2) 町長行政報告及び提案総括説明
 (3) 教育委員会行政報告
-

出席議員 (10名)

1番 小林 孝昭	2番 安川 禎幸
3番 高橋 紳章	5番 平野 龍彦
6番 安川 繁典	8番 黒川 悟
9番 鳴海 圭矢	10番 白水 英至
11番 藤木 泰	12番 古賀ひろ子
-

欠席議員 (2名)

4番 丸山 康夫	7番 入江 政行
-

事務局出席職員職氏名

議会事務局長 太田 美和

説明のため出席した者の職氏名

町長	……………	安川 茂伸	副町長	……………	原田 和幸
副町長	……………	一木 孝敏	教育長	……………	折居 邦成
総務課長	……………	八島 勝行	地域コミュニティ課長	…	太田 一男
シティプロモーション課長	…	瓦田 浩一	企画財政課長	……………	工藤 正人
税務課長	……………	田口 嘉輝	会計課長	……………	大神 隆史
住民課長	……………	野田 幸二	健康課長	……………	水野 治也
福祉課長	……………	佐伯 剛美	環境課長	……………	石川 和男
管財課長	……………	矢野 量久	都市整備課長	……………	藤木 義和
上下水道課長	……………	前田 友博	学校教育課長	……………	川畑 廣典
社会教育課長	……………	竹下 健一	こどもみらい課長	…	入江 和美

10時00分開会

○議会事務局長（太田美和）

起立願います。礼。おはようございます。着席願います。

本日の議事日程第1号を表示しておりますので、御確認ください。

○議長（古賀ひろ子）

改めまして、おはようございます。

ただいまから令和6年12月宇美町議会定例会を開会します。

本日の会議を開きます。

欠席届が4番、丸山議員及び7番、入江議員から出ておりますので、御報告します。

お知らせします。本定例会会期中、議会広報用のため事務局職員による写真撮影を許しております。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（古賀ひろ子）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員には、会議規則第125条の規定により、議長において、3番、高橋議員及び4番、丸山議員を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（古賀ひろ子）

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。議会運営委員会におきまして、議案の件数並びに内容を検討した結果、本定例会の会期は、本日から12月13日までの5日間としたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（古賀ひろ子）

異議なしと認めます。したがって、会期は本日から12月13日までの5日間に決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（古賀ひろ子）

日程第3、諸般の報告を行います。

〔議長交代〕

○副議長（藤木 泰）

議長事務報告を求めます。古賀議長。

○議長（古賀ひろ子）

議長事務報告を行います。

令和6年10月18日に糟屋地区議長協議会がありました。

協議事項として、全国及び県町村議会議長会表彰自治功労者の推薦については、議員在職15年以上ということで鳴海議員が全国及び県町村議会議長会表彰に、議員在職27年以上ということで白水議員と私が全国町村議会議長会表彰に、議長在職7年以上ということで私が全国及び県町村議会議長会表彰に推薦されることになりました。

そのほか、県町村議会議長会定期総会各郡提出要望の選定について。令和6年度全国町村議会議長全国大会及び糟屋地区議長協議会先進地視察研修などについて協議しました。

最後に、各市町の令和6年9月定例会の情報交換を行いました。

次に、令和6年11月13日に第68回町村議会議長全国大会がありました。

開催場所は東京都NHKホールです。今回の大会スローガンは、議会への多様な人材参画及び議会の機能強化、地方交付税等の一般財源総額の確保・充実、長期的な復興支援と災害対策の確立、少子化対策及び子ども・子育て政策の推進、地方創生とデジタル化のさらなる推進などで、特別決議2件、令和7年度国の予算編成及び施策に関する要望28件、地区要望9件などの決議を行いました。

また、中央大学法科教授で森・濱田松本法律事務所客員弁護士の野村修也氏による特別講演が

ありました。

引き続き令和6年11月14、15日に糟屋地区議長協議会先進地視察がありました。

研修先は石川県津幡町及び内灘町で、被災地の復旧・復興状況及び防災計画、復興計画について視察し、災害時における議会の対応について意見交換を行いました。

以上で、議長事務報告を終わります。

○副議長（藤木 泰）

議長事務報告を終わります。

〔議長交代〕

○議長（古賀ひろ子）

次に、町長行政報告及び提案総括説明を行います。

町長より本定例会に提案された案件は、専決処分の報告1件、工事請負契約変更案2件、条例案5件、予算案5件の計13件です。

町長行政報告及び提案総括説明を求めます。安川町長。

○町長（安川茂伸）

おはようございます。

本日、宇美町議会12月定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、公私ともに御多忙の中、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

今年も残すところ二十日余りとなりました。この1年を振り返りますと、元旦に最大震度7を記録する能登半島地震に始まり、8月には宮崎県日向灘での地震を受けて、初めて南海トラフ地震臨時情報が発表されました。また、今年の夏は、太宰府市で猛暑日が年間60日を超えるなど猛暑に見舞われました。改めて、異常気象による台風や大雨、予測困難な災害に備え、平時からの防災意識の向上に努めなければならないと肝に銘じたところです。

経済に目を向けると、3月に日銀がマイナス金利政策を解除し、金利の引上げを決定、円安の加速、日経平均株価がバブル期の史上最高値を更新し、7月には20年ぶりに新紙幣が発行されました。定額減税や各種給付金の支給、最低賃金は過去最大の引上げとなりましたが、一方では物価の高騰が続いております。現在、政府においては税制改正の中で103万円の壁について議論が行われており、国の動向に注視しつつ、持続可能な行財政運営に取り組んでまいります。

スポーツ界では、大谷選手の活躍や、今年はパリオリンピックでの日本選手の活躍も目を引きました。本町からも内野艶和選手が自転車競技に出場しました。残念ながらメダル獲得とはなりませんでしたが、次期オリンピック出場に向けて躍動する内野選手を今後も町を挙げて応援していきたいと思っております。

政治においては、国内では石破新内閣の発足、米国ではトランプ氏が次期大統領に返り咲くこ

ととなりました。一方では、いまだロシアのウクライナへの軍事侵攻が止まらず、2年以上の月日に及び、不安な影を落としています。

先行き不透明な時代ではありますが、今後も国の動向に注視しつつ、県や近隣市町、関係機関等との連携を強化して、安心して暮らせるまちづくりに邁進してまいります。

それでは、12月定例会に当たりまして、行政報告を申し上げます。

初めに、新型コロナワクチン接種事業について御報告いたします。

令和6年4月から予防接種法に基づくB類疾病に指定され、10月1日から65歳以上の方などを対象とした新型コロナワクチンの定期接種を開始いたしました。本年度の接種期間は3月31日までとなりますので、希望される方が速やかに接種できるよう引き続き周知してまいります。

次に、宇美町共働事業提案制度の取組の1つとして実施しました認知症啓蒙イベントについて御報告いたします。

10月20日宇美商業高等学校を会場に「認知症をより身近に、より深く」をテーマとして開催いたしました。主催の一般社団法人Kouji様をはじめ宇美商業高校・社会福祉協議会協力の下、286の方に御参加いただきました。

当日は、認知症サポーター養成講座・宇美町マルシェ・認知症の方がスタッフとして従事したレストランなど様々な催しがあり、参加いただいた方は、認知症をより身近に感じられ、今後のサポートにつながるのではないかと期待しています。

今後も、全ての方がみんなで支え合い、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症に関する啓発に取り組んでまいります。

次に、児童手当の拡充について御報告いたします。

令和6年10月分の手当から、次代を担う全ての子どもの育ちを支える基礎的な経済支援として、児童手当の支給要件が変更されました。詳細につきましては、これまでの所得制限が撤廃され、支給期間が高校生年代まで延長されています。また、多子加算を22歳の年度末までとし、第3子以降の月額が3万円に増額されました。12月の支給からは、これまでの年3回の支給から、年6回の偶数月に拡充されており、諸手続が必要であると思われる家庭3,278世帯に対して、8月末に通知書を送付しています。申請の期限につきましては、令和7年3月末までとなりますので、速やかな手続をお願いするところです。

次に、令和6年度定額減税に係る調整給付金について御報告いたします。

本給付金は、物価高騰の影響を受けた国民の負担を緩和するための令和6年分所得税及び令和6年度分個人住民税の定額減税の実施に伴い、減税し切れないと見込まれる方への調整給付金を支給するものです。

令和6年度個人住民税が課税されている方のうち、納税義務者及び配偶者を含めた扶養親族に基づき算定される定額減税可能額が、令和6年分推計所得税額または令和6年度分個人住民税所得割額を上回る方が対象です。10月末の最終状況は、7,061人に支給を行い、支給率は98.1%となりました。

次に、ふくおか町村フェアへの出展について御報告いたします。

10月19日から20日まで、天神中央公園において第15回ふくおか町村フェアが開催され、県内31の町村から過去最多の93団体が地域自慢の特産品を出展しました。初日は、あいにくの雨となりましたが、オープニングセレモニー恒例の祝い餅まきの際は、雨も弱まり、翌日は一転、秋晴れのすがすがしい天候に恵まれ大盛況となりました。

当町からは、宇美商業高等学校、菓房 野乃香、KOYASU FARM、株式会社坂元製作所、福岡刑務所の5団体が出展し、来場者に自慢の逸品とともに町の魅力をPRしました。また、2日目のステージには、「音楽企画ボランティア UMIプロジェクト」と町内で地域活性化に取り組んでいるバンド「サキモリレコーズ」が出演し、元気な歌声とパフォーマンスで会場を大いに盛り上げました。

今後も、町内事業者や町民活動団体と連携協力を深め、町の魅力PRに取り組んでまいります。次に、ふるさとチョイス大感謝祭への出展について御報告いたします。

11月9日から10日まで、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜において、国内最大級のふるさと納税イベントである第10回ふるさとチョイス大感謝祭に、昨年に引き続き出展しました。本イベントは、自治体や地域の事業者・生産者が寄附者に感謝を伝えるとともに、地域の魅力や寄附の使い道等を来場者に直接発信することで、さらに地域のファンとして、関係・交流人口創出につなげることを目的としています。

当町のブースでは、事前予約制でゆっくりと魅力ある返礼品の試食を楽しみながら、町の魅力を知っていただく時間を設け、来場者をおもてなししました。

2日間のイベントに全体として、1万4,819人の来場があり、大変盛況となりました。

今後も、こうした町外における大規模イベントを好機と捉え、積極的に町のPRに努めてまいります。

次に、日本遺産「古代日本の『西の都』」関連のPR事業について御報告いたします。

11月1日から町立歴史民俗資料館において、公益財団法人日本城郭協会が企画・監修した日本100名城 城カード「大野城（宇美町版）」の販売を開始し、11月末までに151枚を販売しています。日本100名城は、平成18年、同法人により、日本を代表する文化遺産であり地域の歴史的シンボルである城郭及び城跡を多くの人に知ってもらい、関心を高めることを目的として認定されたものです。国特別史跡に指定され、日本遺産「古代日本の『西の都』～東アジア

アとの交流拠点～」の構成文化財である大野城跡のさらなる認知度拡大に取り組んでまいります。

また、11月24日には、宇美町スポーツ協会山の会との共働事業による四王寺日本遺産紅葉ウォークを実施しました。36人の参加者が爽やかな秋晴れの下、四王寺山に残る史跡各所を巡り、町学芸員による解説に耳を傾けながら古代山城の魅力を体感されていました。

今後も、日本遺産「西の都」及び町の魅力を体感し、再発見できるような文化財活用事業に取り組んでまいります。

次に、11月9日に開催いたしました宇美町教育の日「学びでこどもの笑顔をうみだすまち」研究大会について御報告いたします。

研究大会は、子どもの学びを中心に据え、【みんなで「こどもの育ち」を応援し、誰もが生涯にわたって「学び」を楽しむ、「学びでこどもの『笑顔』をうみだすまち」の実現】をスローガンに開催いたしました。

午前の部は、子どもの学びの発表の場として「少年・少女の主張大会」、また、こども計画策定に当たり「こどもたちにとってよい町にするには」をテーマに、グループで探究しその結果を町に提案する「こども会議」を実施しました。

午後の部では、聖徳大学名誉教授で全国生涯学習市町村協議会世話人である福留強様から「輝くこどもたちの活動について」をテーマに基調報告をいただき、その後、井野小学校6年生、上田浩平さんの「弁当の日を本来の姿にするための計画」の取組報告、そして上田浩平さんの提案と依頼を受け、ノンフィクション「はなちゃんのみそ汁」の著作で、映画「弁当の日～『めんどくさい』は幸せの近道」監督である安武信吾様に御講演いただきました。

研究大会では、子どもの学びを考えることを通じて、我々大人も生涯にわたる学びを考える機会になったのではないかと考えております。

議員の皆様におかれましては、お忙しい中、御臨席をいただき、改めてお礼を申し上げます。

これからも、子どもが楽しいと思える学びの場をつくるとともに、全ての人が生涯にわたって学び続けることができる環境をつくり、学びの成果をみんなで楽しみ、生かし、人生が輝くまちづくりを目指して取り組んでまいります。

次に、宇美駅前広場を中心とした町の魅力向上の取組について報告いたします。

12月1日、宇美町商工会との共働事業による「宇美駅から宇美八幡宮へ誘う『道案内アート』作成事業」で、駅周辺の店舗のシャッターに宇美商業高校の生徒と商工会会員のコラボレーションにより作成したシャッターアートの除幕式を行いました。また、同日、例年よりバージョンアップした駅前広場のクリスマスイルミネーションの点灯式を宇美町商工会の御協力により開催しました。イルミネーションの点灯期間は来年1月末までを予定しています。

宇美駅前広場では、10月1日からキッチンカー等出店事業を開始しており、起業後間もない

事業者からも事業活動の場として大変活用されています。町の玄関口である宇美駅前広場が交通拠点としてだけでなく、地域の方々の交流の場として、より一層明るく、活気あるスポットとなり、町外から訪れる方に魅力を感じていただけるよう関係団体の御協力を得ながら取り組んでまいります。

次に、マイナ保険証について御報告いたします。

12月1日をもって健康保険証の新規発行が終了となり、2日以降はマイナンバーカードの健康保険証利用を基本とする仕組みに移行されました。

現在、発行済みの健康保険証は有効期限までは使用できますが、マイナ保険証を持っていない方については、健康保険証の有効期限を迎える前に資格確認書を申請によらず発行することとなります。

今後も制度の周知に努め、遺漏のないよう進めてまいります。

次に、町道竹ヶ下～桜ヶ丘線災害復旧工事について御報告いたします。

8月中旬から本格的に着手したのり枠及びアンカー工事は、9月中旬で7段目の施工が完了し、現在4段目を施工中です。工事は順調に進んでいますが、観測計の水位及び目視による地下水の状況等を注視した上で、必要に応じて排水ボーリングや裏面排水材等の排水対策を講じながら、のり面の安定を最優先に工事を進めてまいります。

以上をもちまして、行政報告を終わりますが、今後とも議員各位の御理解とお力添えを心からお願い申し上げます。

それでは引き続き、12月議会に当たりまして、提案理由の説明を申し上げます。

本議会に提案している議案は、専決処分の報告1件、工事請負契約変更案2件、条例案5件、予算案5件の計13件であります。

報告第7号の専決処分の報告については、令和6年10月20日に宇美東中学校グラウンド側門扉で発生した自動車物損事故の相手方と示談が成立し、令和6年11月28日に専決処分を行ったことを議会に報告するものであります。

議案第46号の工事請負契約締結についての議決内容の一部変更については、令和5年度神武原池改修工事（その2）の工事請負契約締結に係る議決内容の一部を変更するものであります。

現在、工事は堤体盛土工を進めているところですが、不可視部の流用予定土の含水比が高く流用できないことが判明したため、工事契約内容の変更を行うものであり、令和6年12月4日に請負者である株式会社柿原組と仮契約を締結し、請負契約額を332万2,000円増の5,832万2,000円とする工事請負契約の一部変更を行うため、議会の議決を求めるものであります。

議案第47号の工事請負契約締結についての議決内容の一部変更については、令和6年度宇美

小学校校舎外壁等改修工事請負契約締結に係る議決内容の一部変更を行うものであります。

現在、工事は施工中のところですが、来年1月末の竣工を前に、清算的な要因で工事契約内容の変更を行うものであり、令和6年12月4日に請負者である西村建設株式会社宇美営業所と仮契約を締結し、請負契約額を3,751万円増の1億6,082万円とする工事請負契約の一部変更を行うため、議会の議決を求めるものであります。

議案第48号の宇美町立学校設置条例の一部を改正する条例については、学びの多様化学校の設置に伴い、所要の規定を整備する必要があるため、議会の議決を求めるものであります。

議案第49号の宇美町下水道条例の一部を改正する条例については、政府の「デジタル原則に照らした規則の一括見直しプラン」の趣旨を踏まえた排水設備工事責任技術者の常駐・専属規制の緩和等に伴い、所要の規定を整備する必要があるため、議会の議決を求めるものであります。

議案第50号の宇美町上水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例については、生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令等の施行に伴い、所要の規定を整備する必要があるため、議会の議決を求めるものであります。

議案第51号の宇美町道路占用料条例の一部を改正する条例については、道路法施行令に準じ宇美町が徴収する道路占用料について、所要の規定を整備する必要があるため、議会の議決を求めるものであります。

議案第52号の宇美町行政財産使用料条例の一部を改正する条例については、宇美町道路占用料条例に準じ宇美町が徴収する行政財産使用料の額について、所要の規定を整備する必要があるため、議会の議決を求めるものであります。

議案第53号の令和6年度宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）については、歳入歳出それぞれ176万円を追加し、予算総額を6億2,492万円とするものです。補正の主な内容は、令和5年度決算による繰越額の確定等に伴う補正及び決算見込みに伴う各費目の整理と、後期高齢者医療広域連合納付金の額の確定に伴う整理を中心としたものです。

議案第54号の令和6年度宇美町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）については、歳入歳出で5,259万5,000円を追加し、予算総額を40億136万7,000円とするものです。補正の主な内容は、令和5年度決算による繰越額の確定等に伴う補正及び決算見込みに伴う各費目の整理と、国、県の支出金等の額の確定に伴う整理を中心としたものです。

議案第55号の令和6年度宇美町上水道事業会計補正予算（第2号）については、収益的支出において、77万5,000円増額して7億4,700万6,000円としております。これにより今年度の純利益は2,409万円余を見込んでいます。

議案第56号の令和6年度宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第2号）については、

収益的収支の収入において、4,304万8,000円増額して9億8,567万8,000円に、支出で2,492万4,000円増額して8億8,062万1,000円としております。また、資本的収入において、一般会計からの追加繰出金の受入れに伴い、9,338万2,000円増額して5億6,986万6,000円としております。これにより今年度の純利益は1億763万円余を見込んでいるものであります。

議案第57号の令和6年度宇美町一般会計補正予算（第7号）については、歳入歳出それぞれ4億4,979万6,000円を追加し、予算総額を157億7,514万3,000円とするものです。また、債務負担行為及び地方債の補正を併せて提案しています。

本補正予算は、各事務・事業費の整理などを行うとともに、流域関連公共下水道事業会計への追加繰出金をはじめ、障害者福祉に係る扶助費の増額や各事業の令和5年度の事業費確定に伴う前年度国庫及び県支出金返還金のほか、子ども医療支援経費、桜原小学校管理費、人件費の調整額などを計上しています。

また、今回の補正に必要な財源として、町税、地方特例交付金、障害者福祉費負担金などの国庫支出金及び県支出金、企業版ふるさと応援寄附金、財政調整基金繰入金などを計上しています。

以上で、行政報告及び提案総括説明を終わりますが、それぞれの議案が議題となりましたときには、担当者より詳細に説明させますので、議決いただきますようお願いいたしまして説明を終わります。

○議長（古賀ひろ子）

町長行政報告及び提案総括説明を終わります。

続いて、教育委員会行政報告を行います。

教育委員会行政報告を求めます。折居教育長。

○教育長（折居邦成）

おはようございます。

12月定例会に当たりまして、教育委員会行政報告をさせていただきます。

初めに、学校教育課関連から、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について御報告いたします。

今年度は、小学校6年生と中学校3年生に対して4月18日に実施しましたが、宇美町全体としては全国や福岡県の水準を下回っているのが現状です。全体の平均を100とした標準化得点を文部科学省の算出方法から福岡県の算出方法に3年ぶりに変更しました。そうすることで、小学校5年生から中学校3年生までの同一児童生徒集団の学力推移を見ることができます。

各学校では、0.1ポイント以上学力を伸ばして、次の学年に送るための授業改善の取組を行っているところです。

教育委員会といたしましても、教師が一方向的に教えるだけの授業から脱却し、子どもが主体的に学ぶ授業改善に向けた学校支援を行ってまいります。

次に、9月27日から実施しています教育委員会による学校訪問について御報告いたします。

この学校訪問は、6月に行った第1回学校教育推進協議会で示された今年度目標の達成状況について、中間報告として位置づけており、学校経営要綱の進捗点検や授業参観を行いました。学校からは、学力向上の取組やいじめ・不登校対策についての報告があり、教育委員会から指導助言を行いました。

また、宇美東中学校、桜原小学校、井野小学校においては、研究発表会を学校訪問として位置づけ、学校経営を点検することとしており、10月29日の宇美東中学校、11月15日の桜原小学校、12月3日の井野小学校では、多くの来校者が見守る中、生き生きとした表情で前のめりに課題に向かう児童生徒の姿が随所で見られました。教育委員の皆様や参観された方々からは、とても高い評価をいただきました。

各学校に対する指導助言に関しては、来年1月に教育委員会と学校で点検を行い、2月に行われる第2回学校教育推進協議会につなげていきたいと思っております。

次に、10月15日に実施いたしました小中連携授業改善研修会について御報告いたします。

本年度の3中学校区の授業担当校は、宇美小学校、宇美東小学校、原田小学校で、それぞれの学校において外部講師を招聘し公開授業を実施いたしました。

この小中連携の取組は、学力向上の一環として、9年間の連続した教育を重視し、交流や情報共有をすることで、小学校から中学校への円滑な接続、また、授業の質の向上を目指すものです。

今後も、本町の特色ある取組として推進してまいります。

次に、水泳学習の民間委託事業について御報告いたします。

水泳学習の民間委託事業は、児童生徒の安全と技能向上を目的としています。

本年度は、原田小学校をモデル校として実施いたしました。10月22日から11月19日までの期間で、学年ごとに6単位時間分の水泳学習を行いました。しっかりと安全管理の下、専門のインストラクターが指導に当たることで、児童は安心して、かつ意欲的に学習に臨んでおり、学校の教員や保護者からも高い評価を得ているところです。

令和7年度は、町内の全小・中学校で実施できるよう計画してまいります。

次に、学びの多様化学校保護者説明会について御報告いたします。

全児童生徒の学びへのアクセス実現及び全児童生徒の進路実現と社会的自立を目的として、学びの多様化学校の令和7年4月開校に向けて準備を進めているところですが、10月31日に第1回、11月28日に第2回の保護者説明会を開催いたしました。

保護者説明会には、町内外から児童生徒を含め、どちらも35名以上の方に参加いただき、学

校の方針やカリキュラム等について説明し、その後、質疑応答を行いました。

一人でも多くの児童生徒の学びへのアクセス実現のため、来年度開校に向けて着実に進めてまいります。

次に、社会教育課関連から、図書館読書まつりについて御報告いたします。

秋の恒例行事でもある10月27日から11月9日の読書週間に向けて、10月19日土曜日、20日日曜日の2日間、図書館読書まつりを開催いたしました。

読書への興味や関心を深めていただくことを目的に、図書館利用者の方々から募集した、お気に入りの本の紹介コーナーを設けて展示しました。加えて、おはなし会や映画会、ボードゲーム、雑誌付録プレゼントなど、盛りだくさんの内容で実施いたしました。

また、図書館読書まつり期間中は、館内で音楽を流し、普段とは違う雰囲気楽しんでいただきました。

今後とも、図書館活動のより積極的な普及・啓発を図り、さらに多くの方々に利用していただけるよう、魅力ある図書館の運営に努力してまいります。

次に、尾上部屋について御報告いたします。

大相撲九州場所に出場するため、10月20日から11月末日まで宇美町立老人福祉センターを寄宿舎として、親方3名と13名の力士たちが宇美町に参りました。

11月24日日曜日に無事千秋楽を終え、すばらしい土俵での稽古のおかげで尾上部屋の約半数の力士が勝ち越してきたと報告を受けております。また来年、宇美町に戻ってくるときには、番付を1つでも上げてきますと、力士たちから力強い言葉をいただいたところでございます。宇美町教育委員会といたしましても、尾上部屋の今後のますますの発展と力士たちのさらなる活躍を期待し、引き続き応援してまいりたいと思います。

次に、第11回市町村対抗福岡駅伝について御報告いたします。

11月17日日曜日に、筑後広域公園で行われましたこの大会は、福岡県民体育大会の冬季大会として位置づけられ、今年は県内57市町村が参加しました。中学生を含む当町の代表選手たちは、9区間、30.7キロを、町の誇りを1本のたすきに託し、全力で駆け抜けた結果、総合の部で49位、町村の部では22位でありました。

次に、令和7年二十歳のつどいについて御説明いたします。

令和7年1月12日日曜日に二十歳のつどいの式典を挙行いたします。二十歳になる対象者は、令和6年11月1日現在355名で、今回も二十歳のつどい実行委員会による企画で実施いたします。議員の皆様には御臨席賜り、激励くださいますようお願いいたします。

次に、こどもみらい課関連から、子育て支援事業について御報告いたします。

9月24日に子育てサポーター養成講座の開講式を行いました。この講座は、11月28日ま

での全6回の講座で、子どもについての基礎知識と、子育て支援を学ぶ講座であると同時に、子育てしやすいまちづくりの担い手となるサポーターの養成を目的にしています。

この事業は、NPO法人宇美・子ども子育てネット・う～みに委託しており、コロナ禍を経て、5年ぶりの開催となりましたが、たくさんの方が受講されました。

受講された方が今後、小・中学校でのサロンにおけるスタッフや、イベント、ボランティアなど、地域の子育て支援活動で活躍してくださることを期待しています。

次に、こども計画の策定状況について御報告いたします。

10月4日にウミのミライをトークカフェというイベントをうみハピネスで開催し、18歳から25歳までの若者世代が参加し、魅力ある宇美町になるための強みや課題等について、若者ならではのアイデアを出し合い、自由な意見をグループ形式で交流しました。

グループごとの発表では、若者の視点から現在の宇美町の課題や今後の魅力発信について建設的な意見が出されました。

11月9日土曜日の教育の日「学びでこどもの笑顔をうみだすまち」研究大会では、「こども会議」を開催いたしました。メイン会場の地域交流センターとサブ会場の各小・中学校をリモートでつなぎ、グループワークやオンライン交流を通じて、宇美町の子どもが笑顔になれる居場所について学び、考え、そしてまとめた意見を安川町長に提案しました。

若者や子どもから提案された貴重な意見をこども計画に反映できるよう、策定を進めてまいります。

次に、町立保育園の運動会について御報告いたします。

10月26日土曜日に、町立保育園2園の運動会を実施しました。

当日は、あいにくの雨となり、町内の体育館での実施となりましたが、どのクラスも日頃の練習の成果を十分に発揮しました。かけっこやマーチング、親子競技など、保護者や保育士が子どもの成長を実感し、感動的で笑顔あふれる運動会となりました。

以上、今後とも宇美町の教育力向上のため努力してまいりますので、議員各位の御指導、御協力をお願い申し上げ、教育委員会行政報告を終わります。

○議長（古賀ひろ子）

教育委員会行政報告を終わります。

○議長（古賀ひろ子）

以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

○議会事務局長（太田美和）

起立願います。礼。お疲れさまでした。

10時43分散会